

平成 27 年度概算要求における宇宙関係予算について（速報値）

平成 27 年度概算要求における宇宙関係予算を取りまとめましたので、お知らせします。

全府省庁総額

- ・平成 27 年度 要求額 2,270 億円
  - ・平成 27 年度 優先課題推進枠 1,001 億円
  - ・平成 27 年度 概算要求総額 3,271 億円  
(対前年度当初予算比 532 億円増 (19.4%増))
- (参考) 平成 26 年度 当初予算 2,740 億円

(内訳)

(単位：億円)

府省名	平成 26 年度 当初予算額 (①)	平成 27 年度			対前年度増▲減 (増▲減比) ④-①
		要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	
内閣官房	610	546	151	697	+87 (+14.3%)
内閣府	132	123	21	145	+12 (+9.3%)
警察庁	8	9	0	9	+1 (9.1%)
総務省	26	25	0	25	▲1 (▲2.5%)
外務省	2	2	0	2	▲0 (▲11.8%)
文部科学省	1,529	1,368	492	1,860	+331 (+21.6%)
農林水産省	2	1	0	1	▲1 (▲39.2%)
経済産業省	22	25	32	57	+35 (+160.3%)
国土交通省	95	94	3	97	+2 (+2.4%)
環境省	39	32	11	44	+5 (+12.7%)
防衛省	276	46	290	336	+60 (21.7%)
合計(注1)	2,740	2,270	1,001	3,271	+532 (+19.4%)
(参考値(注2))	(3,242)	(2,484)	(1,101)	(3,584)	(+343 (+10.6%))

(四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。)

(注 1) 弾道ミサイル防衛関連経費 (防衛省)、航空関連経費 (文部科学省)を除いている。

(注 2) 弾道ミサイル防衛関連経費 (防衛省)、航空関連経費 (文部科学省)を含めた場合。

# 平成27年度概算要求（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

## 全府省庁合計 3,271億円

<b>【内閣官房】</b>	69,702	(+8,741)	<b>【農林水産省】</b>	92	(▲59)
● 情報収集衛星関係経費	69,692	(+8,741)	○ 農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	20	(▲5)
<b>【内閣府】</b>	14,474	(+1,227)	○ 農林水産施策における衛星測位技術の活用(VMSシステムの運用)	71	(±0)
● 衛星系通信ネットワークの整備	149	(▲4)	<b>【経済産業省】</b>	5,694	(+3,506)
○ 宇宙利用拡大の調査研究	400	(+57)	● 超高分解能合成開口レーダーの小型化技術(ASNAO2)の研究開発	3,210	(+3,210)
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	13,668	(+1,169)	○ 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	300	(+146)
<b>【警察庁】</b>	858	(+72)	○ 石油資源遠隔探知技術の研究開発	638	(▲0)
○ 高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用	858	(+72)	○ ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	915	(+246)
<b>【総務省】</b>	2,487	(▲64)	○ 太陽光発電無線送電高効率化の研究開発	250	(±0)
○ 準天頂衛星時刻管理系設備の運用	64	(▲13)	<b>【国土交通省】</b>	9,710	(+232)
○ 宇宙通信システム技術に関する研究開発	1,987	(▲14)	○ 人工衛星の測量分野への利活用	965	(+45)
○ 海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	90	(▲10)	● 静止気象衛星業務等	8,450	(+36)
○ 次世代衛星移動通信システムの構築に向けたダイナミック制御技術の研究開発	320	(▲27)	● 高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	260	(新規)
<b>【外務省】</b>	158	(▲21)	<b>【環境省】</b>	4,380	(+493)
○ 衛星画像判読分析支援	144	(▲21)	● いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	3,196	(+221)
○ 宇宙外交推進費	14	(▲0)	● 衛星による地球環境観測経費	1,023	(+269)
<b>【文部科学省】</b>	185,952	(+33,060)	<b>【防衛省】</b>	33,629	(+5,987)
● 新型基幹ロケット	13,000	(+6,000)	● 衛星通信、商用画像衛星の利用等	33,100	(+5,850)
● 超低高度衛星技術試験機(SLATS)	2,166	(+1,597)	● 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	520	(+137)
● 先進光学衛星	5,060	(新規)			
● 光データ中継衛星	3,208	(新規)			
● 宇宙太陽光発電技術の研究	350	(+50)			
● デブリ除去システム技術実証	823	(+753)			
● X線天文衛星(ASTRO-H)	11,432	(+1,897)			
● 革新的衛星技術実証プログラム	3,000	(新規)			
● 国際宇宙ステーション関連	40,219	(+4,496)			
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	4,706	(+4,006)			
● 気候変動観測衛星(GCOM-C)	5,262	(+3,844)			
● 基幹ロケットの高度化の推進	5,940	(+5,940)			

各府省庁予算の単位は百万円。( )内は対前年度当初予算比+増▲減。

●は優先課題推進枠を含む事業。四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

# 平成27年度概算要求（優先課題推進枠）（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

## 全府省庁合計（優先課題推進枠） 1,001億円

<b>【内閣官房】</b>	15,100	<b>【経済産業省】</b>	3,210
● 情報収集衛星関係経費の一部	15,100	● 超高分解能合成開口レーダーの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	3,210
<b>【内閣府】</b>	2,149	<b>【国土交通省】</b>	335
● 衛星系通信ネットワークの整備	149	● 静止気象衛星業務等の一部	75
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用の一部	2,000	● 高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	260
<b>【文部科学省】</b>	49,183	<b>【環境省】</b>	1,133
● 新型基幹ロケットの一部	6,000	● いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等の一部	724
● 超低高度衛星技術試験機(SLATS)の一部	689	● 衛星による地球環境観測経費の一部	409
● 先進光学衛星	5,060	<b>【防衛省】</b>	29,013
● 光データ中継衛星	3,208	● 衛星通信、商用画像衛星の利用等の一部	28,561
● 宇宙太陽光発電技術の研究の一部	50	● 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究の一部	443
● デブリ除去システム技術実証の一部	753		
● X線天文衛星(ASTRO-H)の一部	8,298		
● 革新的衛星技術実証プログラム	3,000		
● 国際宇宙ステーション関連の一部	7,762		
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)の一部	3,096		
● 気候変動観測衛星(GCOM-C)の一部	452		
● 基幹ロケットの高度化の推進の一部	4,134		

各府省庁予算の単位は百万円。  
四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。